

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年7月8日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住所 福岡市中央区平尾3丁目16番17号

氏名 興和道路株式会社 田中 隆臣
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 092-524-3411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

| | |
|-------------------|-------------------|
| 事業場の名称 | 興和道路株式会社 |
| 事業場の所在地 | 福岡市博多区金の隈1丁目34-13 |
| 事業の種類 | 特定建設業 |
| 産業廃棄物処理計画における計画期間 | R5年4月1日～R6年3月31日 |

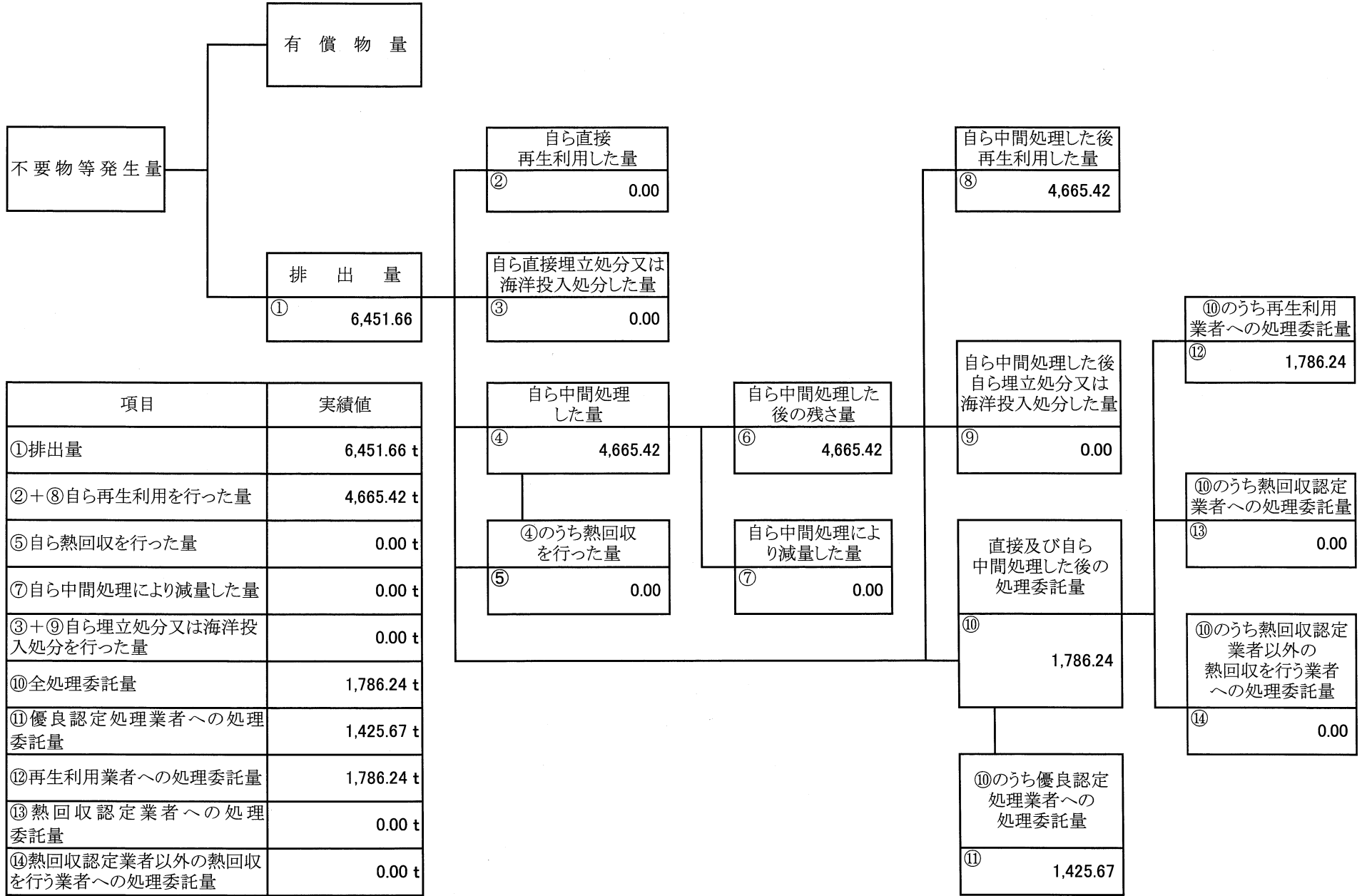
産業廃棄物処理計画における目標値

| 項目 | 目標値 | 項目 | 目標値 |
|--------------------------|---------|---------------------------|---------|
| 排出量 | 8,560 t | 全処理委託量 | 1,560 t |
| 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | 7,000 t | 優良認定処理業者への処理委託量 | 1,015 t |
| 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | t | 再生利用業者への処理委託量 | 1,560 t |
| 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | t | 認定熱回収業者への処理委託量 | t |
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | t | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | t |

※事務処理欄

計画の実施状況

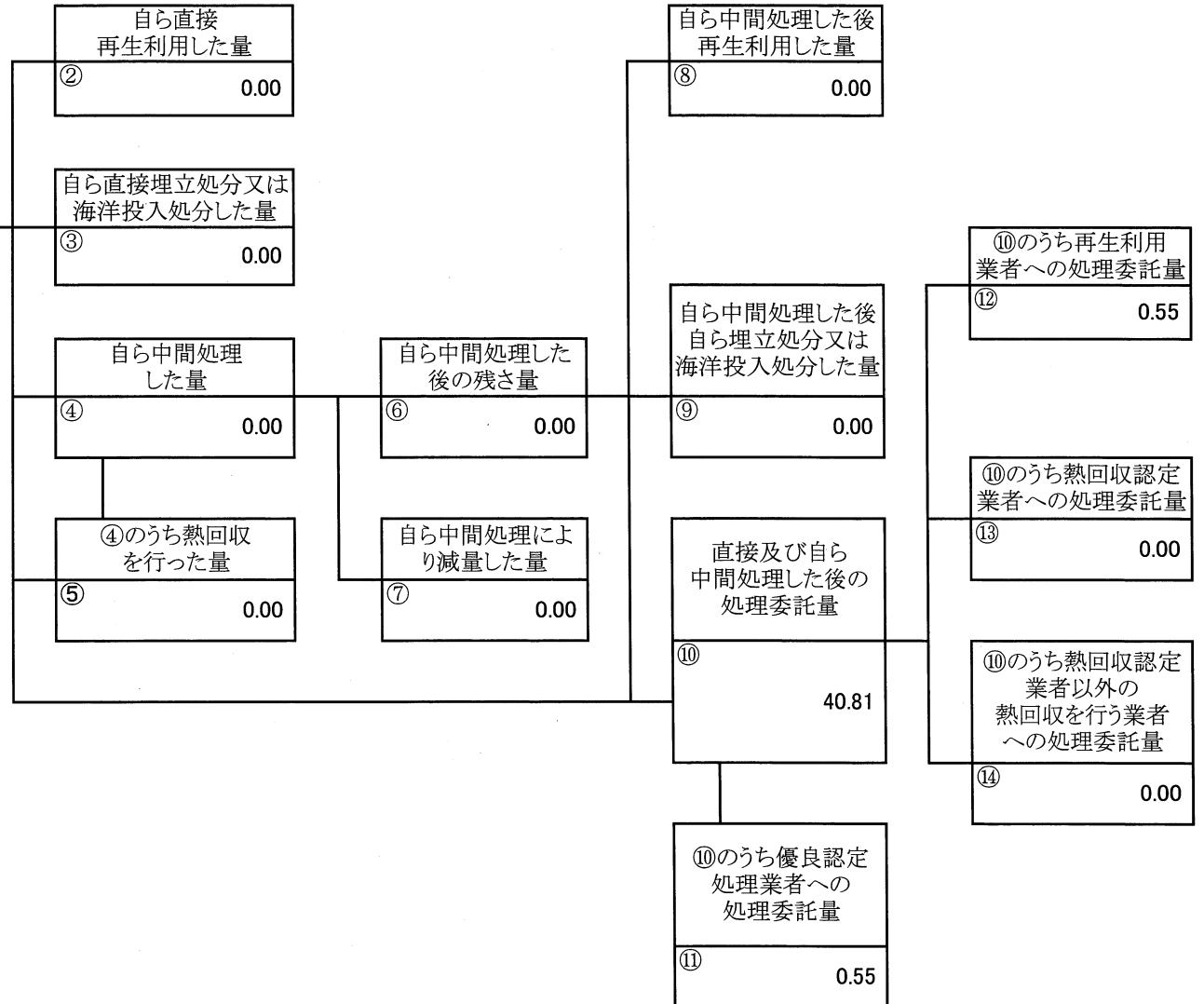
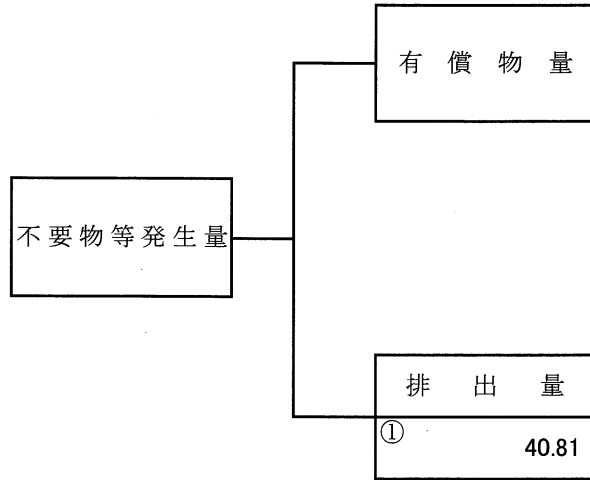
(産業廃棄物の種類: がれき類)



| 項目 | 実績値 |
|----------------------------|------------|
| ①排出量 | 6,451.66 t |
| ②+⑧自ら再生利用を行った量 | 4,665.42 t |
| ⑤自ら熱回収を行った量 | 0.00 t |
| ⑦自ら中間処理により減量した量 | 0.00 t |
| ③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.00 t |
| ⑩全処理委託量 | 1,786.24 t |
| ⑪優良認定処理業者への処理委託量 | 1,425.67 t |
| ⑫再生利用業者への処理委託量 | 1,786.24 t |
| ⑬熱回収認定業者への処理委託量 | 0.00 t |
| ⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.00 t |

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設汚泥)



| 項目 | 実績値 |
|----------------------------|---------|
| ①排出量 | 40.81 t |
| ②+⑧自ら再生利用を行った量 | 0.00 t |
| ⑤自ら熱回収を行った量 | 0.00 t |
| ⑦自ら中間処理により減量した量 | 0.00 t |
| ③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 | 0.00 t |
| ⑩全処理委託量 | 40.81 t |
| ⑪優良認定処理業者への処理委託量 | 0.55 t |
| ⑫再生利用業者への処理委託量 | 0.55 t |
| ⑬熱回収認定業者への処理委託量 | 0.00 t |
| ⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 0.00 t |

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年7月8日

福岡市長 高島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市中央区平尾3丁目16番17号

氏 名 興和道路株式会社

代表取締役 田中 隆臣

電話番号 092-524-3411

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

| | |
|--------------------------|----------------------|
| 事業場の名称 | 興和道路株式会社 福岡工事事部 |
| 事業場の所在地 | 福岡市博多区金の隈1丁目34番13番地 |
| 計画期間 | 平成6年4月1日～令和7年3月31日まで |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ①事業の種類 | 特定建設業 |
| ②事業の規模 | 資本金 98,175千円 |
| ③従業員数 | 総数 正社員15人 |
| ④産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙の通り |

④産業廃棄物の一連の処理工程

●がれき類

- ・工事現場
- ・排出事業者

作業所

舗装版切断
(アスファルト・コンクリート)

舗装版取壊し
(舗装打換)
(路面切削)

積込み

ダンプトラック

運搬

処分場

収集・運搬業者

自社

処分業者

●建設汚泥類

- ・工事現場
- ・排出事業者

作業所

舗装版切断

排水(汚泥)
回収

汚泥運搬車

運搬

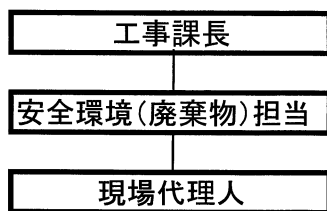
処分場

収集・運搬業者

処分業者

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



工事課長 : 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討、処理状況の監視、取り纏め
廃棄物担当 : 組織名:福岡工事部
現場代理人 : 廃棄物処理計画の作成、処理業者 再生利用業者の選定及び管理
委託契約の締結、マニフェスト交付・管理、監督官庁への報告
社員、関連会社に対する教育・啓発

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

| | | |
|-----|--|-------|
| ①現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 排出量 | |
| | (これまでに実施した取組) 舗装内換工事を出来る限り 路面切削工法に変更するように発注者と協議する 施工箇所に舗装版切断を行い 施工区間が広がらないようにする 構造物の型枠 合材型枠を繰り返し使用する為 丁寧に扱う | |
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 排出量 | |
| | (今後実施する予定の取組) これまでに実施した取組を徹底するとともに 維持工事においては 応急的工法として オーバーレイ工法を協議し排出を抑制する | |

産業廃棄物の分別に関する事項

| | |
|-----|--|
| ①現状 | (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 舗装内換工事でアスファルト片コンクリート片に付着している碎石を取り除く コンクリート片に付着している金属くずは 分別を徹底する |
| ②計画 | (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記を徹底する |

| 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | |
|--|--|-------|
| ①現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 | |
| | （これまでに実施した取組） 作業所で資材を繰り返し使用する 廃棄物を再生処理施設へ委託し、自らも再生資材を積極的に使用する 廃棄物の分別を徹底し再生利用を推進する | |
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 | |
| | （今後実施する予定の取組） 金属くずは再生利用の為の分別を徹底する 再生資源の使用を積極的に推進するように現場担当者に指導する | |
| 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | |
| ①現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 | |
| | 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 | |
| （これまでに実施した取組） 再生利用し易くする為 不純物を取り除く 廃棄物(アスファルト殻)の小割し処理をし易くする | | |
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 | |
| | 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 | |
| （今後実施する予定の取組） 自社中間処理施設への運搬を推進する | | |

| 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 | | |
|---|---------------------------|-------|
| ①現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 | |
| | (これまでに実施した取組) | |
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 | |
| | (今後実施する予定の取組) | |
| 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 | | |
| ①現状 | 【前年度（令和5年度）実績】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 全処理委託量 | |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | |
| | 再生利用業者への処理委託量 | |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | |
| (これまでに実施した取組) 委託契約前に処理場の状況を確認する 処理内容を確認し処理業者、運搬業者と適正な委託契約を締結する 建設副産物情報交換システムにより情報センターへの登録を行う | | |

| | | |
|---|-----------------|-------|
| ②計画 | 【目標】 | |
| | 産業廃棄物の種類 | 別紙の通り |
| | 全処理委託量 | |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | |
| | 再生利用業者への処理委託量 | |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | |
| 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | | |
| (今後実施する予定の取組) | | |
| 現場作業所の地理を考慮し近郊に 優良認定処理業者が存在する場合は委託をする コンクリート殻についても 排出量を 優良認定処理業者へ委託する | | |
| ※事務処理欄 | | |

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。